



1 #雇用の形態

卒業後の就労形態として「障害者雇用枠での一般企業への就労」のほかに、障害者総合支援法のもとに設置されている施設に就労する「福祉的就労(福祉サービスの利用)」があります。「卒業時に福祉就労を選んだら一般就労できない」というわけではありません。本校においても、卒業後「就労移行」「就労継続支援A型」の事業所に通所しながら、働くための力を付けて、一般就労を目指している、または、力をつけて一般就労に結び付いた卒業生もいます。大切なことは、無理のない就労、背伸びをしない就労です。「一般就労したいけど、もう少し力を付けたい」「自分のペースで自分に合った働き方をしたい」などのように、長期的に考える中で、福祉的就労を選択してみることもよいかもしれません。まずは、自分の将来を考え、自分に合った働き方を考えてみましょう。

	就労継続支援A型事業所
サービスの内容	一定の支援のもと、継続して働けるような職場を提供し、生産活動に取り組みつつ知識や技能の向上を図る。必要に応じて、一般企業への移行に向けた支援を得られる。
対象となる方	就労移行支援サービスや特別支援学校での就職活動を経たが、企業等の雇用に結びつかなかった方
雇用契約	あり
利用できる期間	定めなし
賃金	あり(最低賃金が保証される)

2 専門コースコラム ～仕事に合わせる～

お金をもらうには仕事をしなければなりません。自分に合う仕事ってなかなか無いのが現状ですよ。ストレスもたまります。

環境メンテナンスコースでは、清掃活動の墓に植栽活動も行っております。校内花壇の整備、マーケットでの花苗販売、金側の森の花壇への定植のため出張業務を行います。

花苗を育てるには、多くの時間と根気がいります。私も、かつては植栽活動が好きではありませんでした。日々の管理や状況を見ての灌水。雑草除去や殺虫・殺菌剤のローテーション散布。摘花や選定・・・等々。ほかにももっとたくさんの方に神経を使います。

はじめから植栽に関しての興味や知識があったわけではありません。つい最近まで、育ててはよく枯らしていました。3年ぐらい前に初めて自宅にバラ苗を1鉢購入しました。その苗は2か月ぐらいで枯らしてしまいましたが、雑誌やYouTube、ネット検索、専門店に行っているうちに知識も増え、最近ではバラ苗が10鉢までになりました。

ただ、自分の育て方が、これでいいのか、植物は答えてくれません。日々、正確を探りながら、経験積み重ね、バラ以外にも最近ブドウ苗やオリーブ苗等も育てています。時間をかけ、根気よく、手をかければかけるほど、花苗を成長という結果で答えてくれます。植栽活動も3、4年前よりは、少し興味を持ってきました。

与えられた仕事が「やりたくない」と思って逃れようとしても、これから先もその仕事が苦痛になるだけです。

授業等で「つまらない」「授業が自分に合わない」と言うのではなく、卒業していずれ働くであろうときに、「仕事に自分を合わせる」ことができる人になれるとよいですね。自分で工夫してみることが大切です。少しずつ心がけて下さい。

環境メンテナンスコース主任

3 各学年の進路の学び

1学年 第3期現場実習に向けて 引き続き、現場実習に向けて事前学習を進めています。

2学年 進路面談 エントリーシートを記入し、進路面談に向けて準備します。

3学年 内定に向けて 引き続き、履歴書を書いたり、面接の練習をしたり大切な手続きを進めています。



1 運転免許について

本校では、運転免許(車、原付バイク)の取得について「生徒指導心得」に則って許可を出すことができます。許可を得るためには、「申請が必要」となっています。また、学校で免許取得の学習をするのではなく、取得希望者が自身で勉強することになります。

○本年度3年生の免許取得状況(R5.1月現在)は、

- ・普通自動車免許取得者 4名(37名在籍中)

○令和3年度卒業生の現在の免許取得状況(R5.1月現在、取得の連絡があったもの)は、

- ・普通自動車免許取得者 9名(卒業生30名 在学中取得7名)
- ・原付免許取得者 2名(卒業生30名 在学中取得0名)

卒業後の生活、仕事で運転免許が必要となる生徒が多く、そのため取得希望者も多くなることが予想されますが、以下の点に十分お気を付けてください。

- ①在学中に取得を希望する場合は、学校に「運転免許取得の申請」を必ず行う。
- ②学業、仕事を優先する。 *運転免許取得を理由に学校や仕事を休まない。
- ③免許取得に必要な資金を準備する。
- ④「仕事をしながら運転免許を取得することは、非常に難しい」ことを理解しておく。

*生活が大きく変化する中で、運転免許取得のために勉強したり、教習所に通うことは予想以上に負担が大きく、仕事に影響が出てしまう卒業生は少なくありません。

早目の準備を心掛けてください。

2 専門コースコラム ～学び続けること～

3年生はいよいよ卒業が近づき、専門コースで学ぶ時間もあと数回となりました。今、3年生は自分たちが学んできた知識や技術、そして働く上で必要な態度や姿勢について2年生にできる限り引き継ごう!と努力してくれています。約2年間、先輩方から受け継ぎ、成功や失敗を積み重ねて自分の力にしてきたことを実感し、自信となっていることが、3年生の生き生きとした表情からうかがえます。とても頼もしく、2年生の見本となっていると感じます。

そんな3年生も2年前は、先輩に頼り、ひとつずつ仕事を覚えることからスタートしました。最初から何でも理解し、できる人はいません。時には心が折れそうになることもあったかと思いますが、途中であきらめず、学び続けることで、できることが増えていきました。自ら考え見通しをもって活動し、全体をみながら仲間と協力することで時間内に業務を全てを終えるまでになりました。3年間の「学び」の成果ですね。4月から新たな環境で、新たな仕事が始まる3年生。2年生はコースをリードする立場となり、1年生はいよいよ12時間の業務が始まります。これまで習得した力を土台として、また1から「学ぶ」日々のスタートです。

ぜひ積極的に、そして謙虚に「学び続ける」気持ちを大切に 自身を高めていきましょう。

食品加工コース主任 西島博子



3 各学年の進路の学び

- # 1学年 第3期現場実習(1/17~24) 初めての単独実習 この経験を2年生で生かせるような学習をします。
- # 2学年 進路面談を終え、卒業後の進路希望を固めています。
- # 3学年 障がい者就業・生活支援センターの就労支援員さんや卒業生の話を聞き、卒業後の生活のイメージを深めました。



1 卒業後の生活 3年生特別授業『ようこそセンパイ』より

2月15日に、本校を卒業して働いている4人の先輩を講師としてお招きし、働く様子や現在の生活についてお話を伺う、『ようこそセンパイ』という特別授業を3年生を対象に行いました。働き始めてから2年目～5年目の先輩たち。一人暮らしをしている先輩、転職をした先輩、結婚をして子育てをしている先輩など、経験豊富な先輩たちの言葉は一つ一つに重みや輝きがあり、3年生に強く響きました。

『仕事と休日とのメリハリをつけることが大事』

『行きたくなくてもとりあえず仕事に行く。行けばやるしかない』

『仕事は楽しくないし、辛いこともあるが、自分の中で目標を立てていけば頑張れる』

『ようこそセンパイ』より

『現場実習と実際に働くことの一番の違いは責任の重さ』

金言集

『働き始めてから無遅刻無欠勤。それが当たり前だと思っている。仕事は簡単に休めない』

『卒業したら言葉遣いも態度も直せると思っていたが、未だに注意される。やはり日常が出てしまうので、学生のうちに直しておいた方が良い』

『仕事は大変だけど、お給料をもらえるから頑張れる』

話を聞いた3年生からは、『卒業後の生活のイメージができた』『給料の管理の仕方を参考にしたい』『社会人になってからの生活がより楽しみになった』等の感想が聞けました。先輩たちからいただいた言葉をお守りに、いよいよ3年生も社会へと旅立ちます。

2 専門コースコラム 一緒に働きたいと思われる人になれ

考えてみましょう。『あなたが、一緒に働きたいと思う人はどのような人でしょうか？』このテーマを農業生産コースで話し合った時、様々な意見が出ました。

「優しい人」「明るく元気な人」「気が利く人」「協力してくれる人」「返事が気持ち良い人」「助け合える人」「前向きな人」「気持ちや態度に波がなく安定している人」「信頼できる人」「人で態度を変えない人」…考え方は人それぞれですが、どうやら共通していることは、『自分にとってプラスになる人』ということのようです。

では、あなた自身はどうでしょう？ あなたは、あなたが一緒に働きたいと思える人でしょうか？あなたがどのように変われば、一緒に働きたいと思われるでしょうか？

1, 2年生は、残りの学校生活で『一緒に働きたいと思われる人』になっていってください。

4月から社会人の3年生は、コースで学んだことを実践し続け、職場の人に「あなたと仕事ができて良かった」と言われるように、活躍してください。 農業生産コース主任 岩間絵理

3 各学年の進路の学び

1学年 2年生に向けて、1年間の進路学習のまとめを進めています。

2学年 進路が決まった3年生の話聞き、3年生の進路の流れや大事なことを学びました。

3学年 進路先に支援を繋ぐ移行支援会議に向けて『私のトリセツ』を作成しました。





1 卒業生の進路から

3月3日。3年生はそれぞれの道を見つけ、桃花台学園を巣立っていきました。

【卒業生就職先】

	企業名	勤務地
1	DCM株式会社	笛吹市
2	イオンリテール株式会社	笛吹市
3	株式会社 NSD ハケ岳ファーム	北杜市
4	株式会社 アイシン	愛知県西尾市
5	株式会社 吉屋本店	甲府市
6	株式会社 甲州ほうとう小作	笛吹市
7	株式会社 甲府明電舎	中央市
8	株式会社 清月	南アルプス市
9	株式会社 富士レークホテル	富士河口湖町
10	株式会社 プログレス	都留市
11	株式会社 マルモ	中央市
12	株式会社 山梨さえき	富士吉田市
13	甲府東洋株式会社	中央市
14	甲府ビルサービス株式会社	甲府市
15	住友電エデバイス・イノベーション株式会社	昭和町
16	トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市
17	ファナック株式会社	忍野村
18	プリントネット株式会社	上野原市
19	松山油脂株式会社	富士河口湖町
20	モンテ酒造株式会社	笛吹市
21	山梨グローブシップ株式会社	甲府市
22	山梨信用金庫	甲府市
23	有限会社藤代自動車	甲府市
24	リユーズ株式会社	北杜市

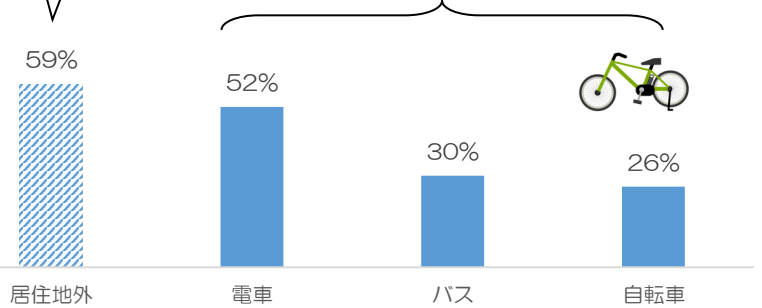
住んでいる市町村以外に就職した先輩が多いだね！



電車やバス以外に4人に1人は自転車を使っているよ！



【就職先所在地と通勤手段】



先輩たちの多くは、仕事の内容で会社を選んで、「やりたい仕事だから、遠くても行く！」と考えた先輩が多いようです。希望を叶えるためには、自分で通勤する力が必要です。

さて、君はどこまで行けますか？

4月から「桃花台学園スクールサイクリスト認定制度」も始まりま
す。自分の夢の実現に向けて、各自の挑戦を続けていきましょう！

2 専門コースコラム 「引き出しをふやす」



環境メンテナンスコースでは、何十年も現場で実践を積んだ大ベテランの清掃プロの外部講師の先生(3人が曜日ごと交替)が来校して授業に入ってください。

先月中旬から2年生のみでのコース授業になりました。2年生は窓清掃スキルアップにおいて授業に取り組んでいます。

窓清掃は、職業能力検定のやり方とは別に、経験を積んだプロ直伝の、より実践的な方法で学習しています。はじめは、検定のやり方と違うからと言って、ある生徒にとっては適応が難しい場面もありました。今では、少しずつ受け入れられる成長を見せています。

外部講師の先生方のやり方は、それぞれが長年の積み重ねによって自分に合った実践方法を築き上げてきたものです。ですから、3人の講師の先生も、人によってやり方が違って当然です。

プロから技術を学べる機会は、一般的にそう多いものではありません。

スクイーズは、腕を動かすだけでなく状況によって腕を止め、狭いところは窓ガラス自体を動かすケース。高所のリーチボールの使い方や足の運び方。個人清掃だけでなく、複数人が連携した清掃の進め方。状況に応じた適切な動き……等々。細部にわたるところまで伝授いただいています。

生徒は、座学よりも動きのある授業、さらに何かしらの道具を使い、その道具を使いこなせることへのよこびがあることで、より集中力が継続できるようです。

窓清掃という一つの「引き出し」から、やり方が一つだけ出てくるのもよいことです。しかし、一つの「引き出し」からいくつものやり方が出てくる方が魅力を感じませんか。一つの技術にとどまらず、多くの技術を吸収してください。そして、実践に役立つようにこのやり方が自分にとって一番合っているというものを見つけましょう。

窓清掃に限らず、日常の様々な場面で「引き出しをふやす」ことは人として魅力です。

環境メンテナンスコース 伊藤

3 各学年の学び

- 1年生：1年間のまとめとルール・マナーについて学習しました。
- 2年生：まもなく最上級学年。進路実現に向けて、自分の生活を見直しています。
- 3年生：卒業おめでとう！スーツの購入、免許の取得、引っ越しなど、入社に向けた準備を進めています。

